

和気あいあいで、ワークショップ

あさげ新聞



右の写真は阿南町農村文化伝承センターで行われた薬細エワークショップの様子。

【六月の主な活動】

1. 稲作事業

- ・土手、畦の草刈り
- ・ケイ酸加里散布

2. 園芸事業

【野菜栽培】

- ・野菜苗の灌水
- ・二期キュウリの種蒔き
- ・大玉トマト、ミニトマト、ナス、レタス、サツマイモの定植

- ・各野菜の芽掻きと誘引
- ・各野菜の追肥と消毒

- ・キュウリ、ダイコン、小松菜、水菜の出荷
- ・玉ねぎ、ニンニクの収穫

【ほおずき栽培】

- ・マイカー線の取付け
- ・下葉／草取り

【どうもろこし栽培】

- ・株間、畝間の除草
- ・追肥、消毒

- ・土手の草刈り
- ・土手の草刈り

3. 薬草事業

【センブリ栽培】

- ・畝の草取り／移植

3. 薬草事業

【福縄づくり】

- ・薬細エワークショップ開催

4. 山菜事業

- ・野フキの出荷

5. その他

- ・山菜畑の整備

- ・経営者協会ワークショップ視察

地域共生推進室 発行
【33号】
2023年7月4日発行
ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com

稲作事業

六月、梅雨の時期に入り、草が伸びるのに必要な水分はたっぷりですが、今年は気温も高く、雑草の成長がとにかく速いです。この時期は草との戦いです。

【水漏れを確認しながら】



六月二十七日、稲の茎を硬くし、倒伏防止や、稲を健全にし、いもち病などの病気に掛かり難くなるように、ケイ酸加里を散布しました。

【ケイ酸加里散布】



園芸事業

【野菜栽培】

野菜の収穫、出荷がはじまりました。キュウリは六月二十日を皮切りに連日、道の駅に出荷しています。



社員向けにはダイコン、小松菜、水菜を六月八日に初出荷しました。



六月八日、ハウス内に定植した、大玉トマト、ミニトマトに苗の手（マイカー線）を取り付けました。



【ほおずき栽培】

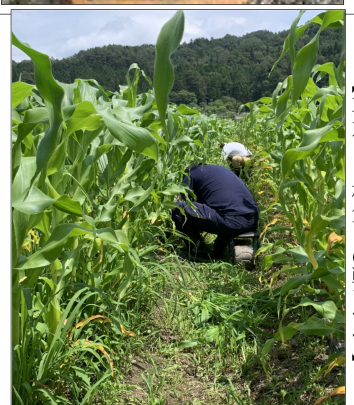
六月二十六日、下葉が黄色く、殺菌剤、殺虫剤を散布しました。この畑は昨年とうもろこしを栽培しましたが、畑も痩せており、水はけも悪く、栽培を断念しました。今年はほおずき栽培にチャレンジしていますが、いまひとつです。土壌改良出来るには少し時間がかかりそうです。



【どうもろこし栽培】

六月二十日、収穫時のとうもろこしのサイズアップを目指し、養分が雑草に取られない様に、株元の草刈りを行いました。畝長が九十四メートルあり、三人で一日一、五畝の作業ペース。時間をかけている間に、茎の背丈も成長

し、畑の中はサウナ状態です。【草刈りは根気との戦いです】



薬草事業

【センブリ栽培】

六月十四日、二年目のセンブリの草取りを四畝実施し、畑のスペースを空ける為、雨の日、センブリを移植しました。昨年、生育中にゼニゴケに覆われ、急遽、直射日光を充てて退治しましたが、生存量に影響が出てしまいました。もともとセンブリは山野草で、水はけの良い、日陰を好むので、あさげの畑では生育が難しいかもしれません。



山菜事業

【野フキの収穫】

六月二十一から二日かけて、山菜畑の草刈りを行いました。



一年ぶりの草刈りで、背丈以上に草が成長していました。雑草の中に、野フキが生育しており、雑草をかき分けながら収穫し、道の駅に出荷しました。

【道の駅に出して見ました】



【整備後の山菜畑】



薬細エワークショップ

六月十七日（土）薬メンバーを講師に、阿南町農村文化伝承センターにおいて、阿南町公民館主催による薬細エワークショップが開催されました。

当日はクラインガルデン居住の愛知県の方々や、会社のOBの方、公民館長、センター管理人、教育委員会の方など、十名にご参加頂きました。

製作工程の説明、作業指導をしながら全員に亀を製作して頂きました。二時間の短い時間でしたが、和気あいあいと楽しく開催することができました。

【製作課題の亀】



今後公民館の行事として、教育委員会と共同で、年、四回ワークショップを開催することになりました。次回は八月二十六日（土）に水引教室を開催致します。